

1504

入)

1 6 11 30

甲

機密

普通機

件名
番号

航本機密第〇一四番電

海

軍

係發付

月 六日 二二〇時東通ニ交付

係證書

付發 昭和 年 月 日

航空本部長

機密三六番電送
一月下旬予一空敵ヨリ發送ノ予定

電
予一航敵長宛

三船隊參謀長、南遣艦隊參謀長、
十二航隊司令官

總務部

航空本部長



教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

總務部長

第一課長
第二課長

補給部長

首席部員

書類綴

茶

送

起案 17年 1月 6日 主務者印

起案第 7

號

案者捺印



續込

航本 17.1.-71223

D

補給部

補給部



R

一六 一二 三一

〇〇〇
七三三
〇五二
〇六〇

東通受
課了
譯

(七一九二)

發信者、六十一航空廠長

着信者、航本總務部長

受報者、三艦隊參謀長・南遣艦隊參謀長・十二航戰司令官

二十一航空廠長

機密第二六八番電

(夕ナ五三)

三〇一三〇三〇

十二航空戰隊機密第四七九番電兵器充當シ得ルモノナキニ付第三第四
項兵器充備ノ上東港宛空輸方取計ハレ度。

平本廠 一月下旬 送送ノ事定
一取 二取 三取

奉配付先

D D (四六四〇KG) 海 軍

至急

凡X 海

一六 一三 二九
三〇 一一 二二
一一 一一 二二
三二 一一 二二
四二 一一 二二
五〇 四一

東通受
了受

(六八八七一四)



● 十二航戰司令官

● 航空本部總務部長・六十一航空廠長
● 艦政本部總務部長・馬公軍需部長

● 二十一航空廠長・佐軍需部長・三艦隊參謀長・南遣艦隊參謀長

軍機秘號

機密第四七九番電其ノ一二 夕ナ一九九六)二八一一二〇

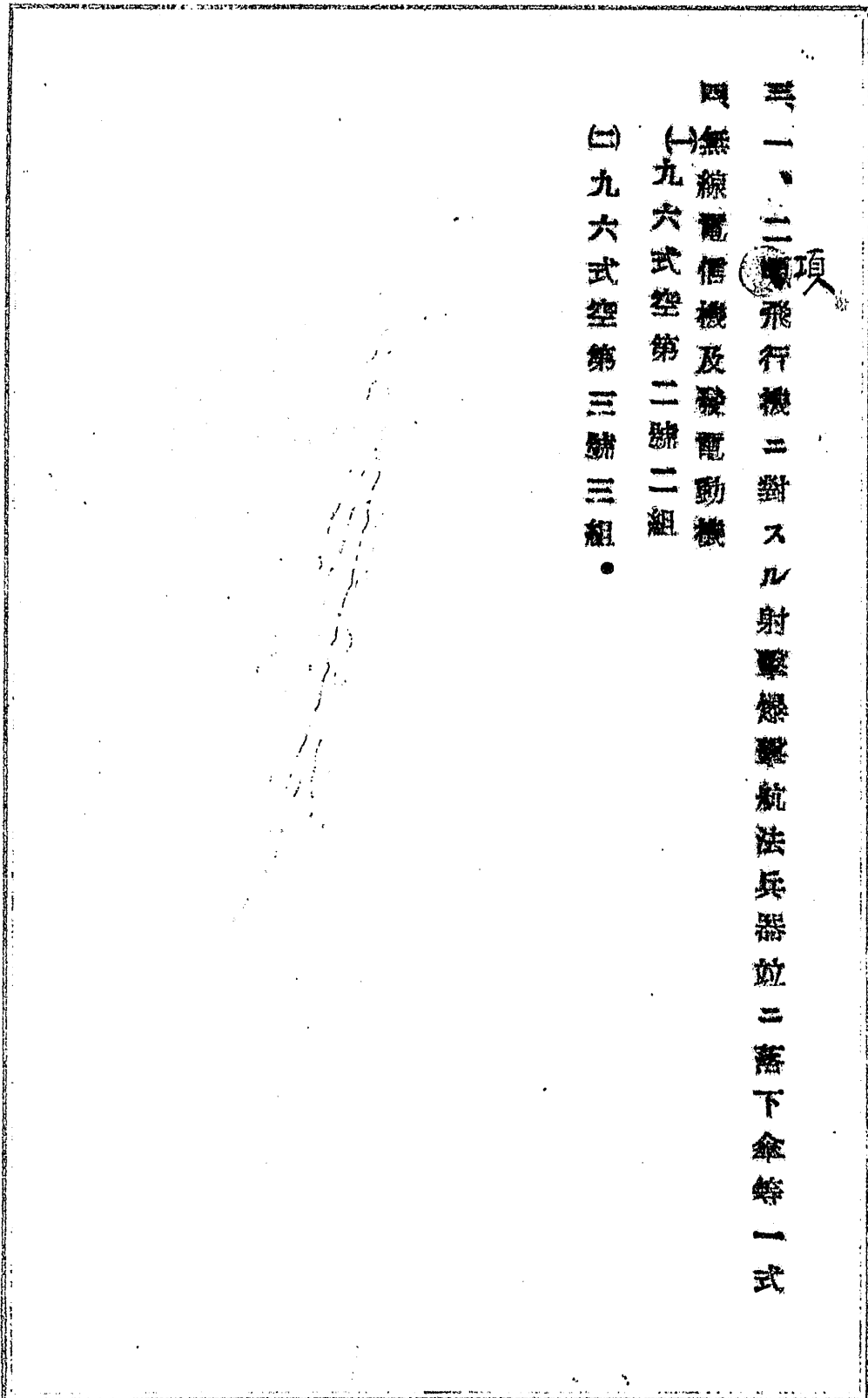
神川丸消航飛行機ノ代機トシテ來一月二十日頃高雄ニ於テ受領シ得ル如ク左ノ通準備方取計ヲ得度

一、零式觀測機 (當隊ノモノ) 二機 (當隊委託保管機四機ノ内二機ハ

既ニ神川丸受入レ濟他ノ三機ハ山陽丸保管中)

三、零式水上偵察機 (當隊ノモノ) 三機

辛巳 (一四七三四五) 軍一



- 三、一、二項 飛行機ニ對スル射撃爆撃航法兵器並ニ落下傘等一式
- 四、無線電信機及發電動機
- (一) 九六式空第二號二組
- (二) 九六式空第三號三組。

海軍

1508

1 20 10 00 閉送 手月以後

密 機 通 普

番 件
號 名

航本機密第〇六三番電

海 軍

發付

淨書

付發 昭和 年 月 日

零式觀測機八機 一月下旬乃至二月上旬

電報案

空三〇四海南航空廠長宛

第一航空廠總務部長
第二航空廠參謀長
第三航空廠司令官
十六空司令
十六空菲島派隊隊

航空本部長

機密部

空廠六十一空廠

軍機密

航空本部長

教育部長

首席部員

總務部長

第二課長

補給部長

首席部員

技術部長

第三課長

第一課長

第二課長

書類綴

217

起案十七年一月十九日 主務者印

17.1.19

起案第

20 號 發付後起案者捺印

2638

航本 17.1.20



機密第九四八番電 二十一日一八一。

聯合艦隊電令作第三十三號

第三根據地隊二座水上偵察機六機ヲ南洋部隊ヨリ除キ
菲島部隊ニ加フ

(終)

機密第九三三番電 二十七日一一〇〇

聯合艦隊電令作第三十三號 聯合

當隊現有機教零觀ニ零偵四、九、四、式水偵四(内ニ貸與中ノモノ)
及近ク到着豫定、モ、零觀ニアリ

搭乗員ノ關係及當面ノ任務遂行上取敢ヘズ零觀ニ零偵ニ
ヲ派遣シ殘ニハ零觀到着後派遣スルコトト致度差支ナキヤ

(終)

海軍

3B9
44 機密第八八番電 二十七日 二一〇〇
機密第九三番電ノ件 差支ナシ

(終)

(密)

海軍

至急

海軍省

補給部

第一室

第一室

17.1.6

A

17.1.6

17.1.6

一七一一五

一四三〇〇
一五二〇五

東通
課受

(一〇二〇) 航

● 航本總務部長

● 二十一航空廠長・南遣艦隊參謀長。六十一航空廠長。海南航空廠員(海口)

● 海南航空廠(サイゴン)

機密第八一
番電

機密第八一 番電 (タナ七二一) 五一一二三〇

南遣艦隊機密第五九一 番電ニ對シ當廠ノ能力左記ノ通ニ付然ルベク取
計ハレ度 (五九六九) 二

一、現有器材及最近入手確實ノ器材ヲ以テ組立可能ノモノ九五式水偵一
機一月五日完成(神川丸用)九四式水偵二機一月二十日及月末完成
(由良鬼怒用)九五式水偵一機二月上旬完成(神川丸用)九五式水
偵一機二月中旬完成

本	總務部長	參謀長	技師	補給部
○	○	○	○	○

DB (一六一三三) K

三右以外器材ナシ器材（各種搭載兵器ヲ含ム）ヲ本日入手セバ海口ニ
 於テ毎月九四式水偵一機九五式水偵一機サイゴンニ於テ毎月九四式
 水偵又ハ九五式水偵一機組立可能ナリ
 三九四式水偵用浮舟プロペラ及發動機各四ハ海口ヨリ取寄セカムラン
 ニテ供給可能ナリ
 四零式觀測機二機（相良丸用）ハ「カツトライ」水上基地ニテ組立
 ノ豫定ナルモ器材入手期日確定セザル爲豫定立タズ。

一月末までに完了



至急

軍機秘蹟

一七

一一

一一

二一九
二九五
三五四
〇八二

東通受
諱了

(一九一)

航本

海南空廠長

航本總務部長・二十一空廠長・六十一空廠長

機密第五九六番電(夕十四九)一一一六〇〇

南遣艦隊參謀長

各部隊搭載艦用トシテ左ノ豫定ニテ飛行機供給更新方取計ハレ度

(特記セザルモノハ第七戰隊)

(イ)成ルベク速ニ九五式水上偵察機一機九四式水偵三機(鬼怒由良

川内)零式觀測機二機(相良丸)

(ロ)一月下旬迄九五式水偵一機零式水偵一機

(ハ)二月中旬迄九五式水偵二機(島海)

DB(四七四五)

海

1

(二) 二月下旬迄九五式水偵二機零式水偵一機
 (三) 三月下旬迄零式水偵一機九四式水偵一機(鳥海)
 尙豫備品至急ヲ要スノ狀況ニ鑑ミ九五式水偵用浮舟單艇プロペラ及發
 動機各四ヲ一月末迄ニ第七戰隊ニ配給ヲ得度
 ニザイゴン「カツトライ」水上基地ヲ佛領印度支那ヨリ海軍ニ讓渡セル
 ヲ以テ水上機ノ更新供給ハ同地ニ於テ行ヒ得ル採取計ハレ度。

航空本部

總務部

第一課

● 航本總務部長・海南航空廠長

● 二十一、六十一各航空廠長・神川丸艦長
十三航戰、九根、四潛戰各司令官

馬來部隊

機密第一〇七番電 (タナニニ八)一〇一四〇〇

馬來部隊作戰上ノ補用トシテ代機ノ外左ノ通海南航空廠西貢支部宛送付ヲ得度

- 一 二月中迄零式水偵四機零式觀測機一在庫ナキ場合ハ九五式水偵一三機九五式水偵四九四式水偵一
- 二 二月以降毎月各機種一機宛補用品ハ各機種ニ就キ概本二機分宛海南航空廠西貢支部ニ在庫アル如ク取計ハレ度

一 電信課註 問ヒ合セノ爲遲延) DB (一六二三三〇) 海軍

一七二 補給部

一〇二〇 首席 七六三五 七三〇〇 〇〇〇四

東通受

(二二〇五)

航本

● 第一南遣艦隊參謀

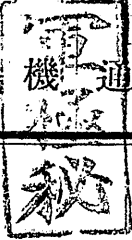
長	李	配	付	先	罪
補給部	技術部	教育部	陸務課	陸務課	陸務課

17.1.13

航本 17.1.13

1517

普通機密



書類綴

必電

起案十七年一月二十日 主務者印

全 17.1.20 并

起案第 57 號

發付後起 案者捺印

17.1.20 并

航空本部長

補給部長

首席部員

總務部

第一課長

教育部長

第二課長

技術部長

第一課長

第二課長

第三課長

付發 昭和 年 月 日

航空本部長

總務部

蘭印部隊參謀長

宛 (五) 戰隊 二水 三各空 敵長 司令官

電報 報 字 未

車員機密 (八六九番電) 電報 報 字 未 雲式水偵、九式水偵、八十一空敵ヨリ、雲式水偵、八十一空敵ヨリ

番 件 號 名

航本機密第〇七二番電

海

軍 發付 一月 一八五〇 東通二 送付

航本 17.1.22

何各三機二月上旬送下手配中

(分)

(終)

模造半葉十三行紙(花崎納)

海軍

航空本部

補給部

首席部員



一七一一八

一七六四
五〇四五

東通
課受

(四〇〇三) 航

本

發信者、蘭印部隊參謀長

着信者、航本總務部長・二十一航空廠長・二航空廠長

受報者、六十一航空廠長。五戰隊司令官・二水雷隊司令官
四水雷隊司令官・第一航空部隊指揮官。第二航空部隊指揮官

機密暗號

機密第八六九番電 (夕ナ一三) 一八一四〇〇

當部除水上機ノ消耗相當大ナルニ鑑ミ九四式水偵三九五式水偵四觀測

機四零式水偵二至急「夕ナ一」ハ送付方取計ハレ度。

夕ナ一 後五枚
夕ナ一 八枚
夕ナ一 三枚
夕ナ一 三枚
二月末 1000
二月末 七五〇
二月末 七五〇

計 一回枚

DE (一五七一〇KG) 一 軍

機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密
補給部	技術部	教育部	給養部	給養部	給養部	給養部	給養部	給養部	給養部

1520

1 22 14 52

閉送

軍機密

通 普

番 件
號 名

第一南遣艦隊機密第一九九番電兵器急送セシ度

電報案

第一航空廠總務部長

第一南遣艦隊機密第一九九番電兵器急送セシ度

付發 昭和 年 月 日

航空本部長

總務部

航空本部長

補給部長

首席部員

總務部長

第一課長
第二課長

教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

書類綴

22

起案十七年一月二十日 主務者印

全 17.1.20 并

起案第

55 號

發付後起
案者捺印

綴込

航本
17.1.23

2896

航本機密第〇七四番電

海

軍

發付

係 證書

一月廿二日一六三〇時東通ニ交付

報電秘極

首務部員



C



第十課

一七 一一 一一 一四 一四 一四 一四 〇九 五五 三〇

東通受
課了
發信者

一四 五九 三〇

航本

着信者、 航本總務部長

第一南遣艦隊參謀長

受報者、

二十一航空廠長・六十一航空廠長・海南航空廠（西貢）
四航戰司令官

機密第二九九番電

機密第二九九番電（夕ナ四八一）二二一一一三〇

第四航空戰隊ノ飛行機消耗及更新ニ備ヘ成ルベク速ニ九六式艦上戦闘機九七式艦上攻撃機各三機海南航空廠（西貢）宛輸送方取計ヲ得度。

予一南遣艦隊長ニ九六式艦上戦闘機三機輸送方取計ヲ得度

予一南遣艦隊長
九六式艦上戦闘機三機
五機

海軍

海軍

A 1

1522

2 9 18 18

航空本部

密 機 通 普

21

番 件
號 名

航空本部密第一三八番

海

軍

係 發付

係 淨書

二月 九日 一九二〇時 東遞ニ交付

上村

付發 昭和 年 月 日

航空本部長

海南航空廠長
電報字示
在庫ノ九五式水偵三機

宛
航空廠長(西貢)
航空廠長(西貢)
航空廠長(西貢)

一。一空廠(西貢)へ急送 程度
(終)

予一南遣艦隊供用

説明

航空本部長

印

補給部長

首席部員

總務部長

第一課長
第二課長

教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

總務部

書類綴

昇 迄

起案ノ年 月 日 主務者印

起案第 號

發付後起
案者捺印

17.2.6 井

航本
17.2.10

1883

補給部

補給部員

B C

一七二 一 〇三三 〇八一 〇八五 東通 受 受 (三四三) 航

總務部 第一課

着信者、一南遣艦隊參謀長

着信者、航空本部總務部長

受報者、

二十一航空廠長(佐世保通信隊)・六十一航空廠長(高松通信隊)・相良丸艦長・海南航空廠長・百一航空廠長(サイゴン)・七艦隊司令官・三水艦司令官・九根據地隊司令官・島海艦長

機密第五二六番電 (夕チ七九八) 一五一五三〇

二月一日現状ニ於テ馬來部隊搭載艦及相良丸用搭載豫定ハ得ザリシニ依リ更新ヲ要ス

(イ) 速ニ更新ヲ要スルモノ零式観測機 (第七艦隊) 零式観測機三 (相良丸) 九五式水偵四機 (第七艦隊) 九四式水偵一機 (川内)

(ロ) 二月中進零式観測機二 (相良丸) 九五式水偵二機 (島海)

DB (一一九九一) 海

軍

1523

(イ) 土三三四
水偵四機
零式丸

補給部	技術部	教育部	給養課	配付先

補給部 17.2.2

(一) 二月下旬 迤九五式水偵三機 (第七戰隊) 零式水偵一 (第七戰隊) 零式觀測機一 (相良丸)

(二) 三月中旬 迤マテ九四式水偵一機 (鳥海)

(三) 三月下旬 迤九五式水偵一機 (第七戰隊) 零式水偵一機 (七戰隊)

右機材ノ組立ハ大部分搭載艦ニテ實施スルニ付第一〇一航空廠宛送付
成相度。

海軍

1525

2 19 15 6

軍機秘

通普

23

書類級 起案十七年二月十九日 主務者印

起案第

96 號

發付後起
案者捺印

17.2.20

航空本部長



補給部長

代首席部員

總務部長

第一課長
第二課長

教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

付發 昭和 年 月 日

第六十一航空廠長

宛

一〇三航空廠長、二一航空廠總務部長、
三艦隊參謀長、三三南遣艦隊參謀長

航空本部長

總務部

補充用トシテ零式觀測機二機一月十日たるしま丸五機二月十一日照慶丸

ニテ何レモ三空廠ヨリ貴廠へ送セシ付到着次第一〇三空廠へ

轉送セラレ度

軍機秘

件名

航空機密第一六一番

海

軍十九日一六四〇時東通ニ交付

2815

127

補給部長

首席職員
二八

航空本部

一五五〇〇九〇

東通
課受
了

(一七九〇)

航
本

着信者、六十一航空廠長

着信者、航本補給部長

受報者、二十一航空廠器材部長・一〇三航空廠長・三艦隊參謀長

讚岐丸艦長。六十一航空廠長

機密第一二五番電 (タナ七七〇) 八一―三四〇

讚岐丸機密第一四六番電ニ關シ當廠在庫ナシ。

急
未
時
刻
三
分
定
備
有
取
引
事
務

海軍

補本航
17.2.9

七

72

2

軍令

一七二六

二二二
三三三
五五六五

東通
了受

(一四三七)

航本

● 讚岐丸艦長

● 航空本部補給部長・第三艦隊參謀長・一〇三航空廠長

● 五二十一航空廠器材部長・六十一航空廠器材部長



機密第一四六番電 (夕ナニ〇九) 六一一六二〇

本日零式観測機一機 (二十一空廠機第二二號) バリクバパン基地ニ於テ着水ノ際顛覆大破

使用可能機數 零式観測機四機九五式水偵二機トナレリ

本艦機密第一三六番電ニテ請求ノモノト併セ計零式観測機三機 (内一機ハ保管機トシテ) 補充方御配慮ヲ得度

D B (四七四五 K)

海軍

補本
17.27

1528

2 15 16

軍機

密機通普

24

番
件
名
號

航本機密第一六三番電

海

軍
二月九日一七二〇時東通二交付

三空用 零式觀測機 八三根司令部ヨリ送送準備中
一機ノ外ニ機 六十一空廠ニ在庫 爲一機ハ三月中
ニ手一空廠ヨリ 六十一空廠迄 送送ノ事定 (關聯 三空機 一三番電)

電報 三空廠長宛

三空司令部ヨリ送送準備中
三空司令部ヨリ送送準備中
三空司令部ヨリ送送準備中

付發 昭和 年 月 日

航空本部長

濟

航空本部長



教育部長

首席部員

總務部長

第一課長

補給部長

首席部員

技術部長

第二課長

第三課長

總務部

書類綴

24

起案十七年二月十九日 主務者印

起案第

95

號

發付後起
案者捺印

17.2.20

航本
17.2.20

2818



航空本部

航空本部

第一課

補給部 首席職員等

B

電信課 第十課

補本部 17.2.18

一七三二一八

一三三二五
一三五〇〇

東通受
課下

三八四〇〇 航本

着信者、航空本部 總務部長
受報者、一〇三航空廠長

着信者、三十二航空隊司令部 配付先

極秘暗號

機密第一三番電 (夕チ一三) 一八一〇七三〇

當隊現有機密機三機ニシテ任務ニ差支アルヲ以テ至急機測機定數供
給方御配慮ヲ得度

親司令部ヨリ送津備中ノ機ニ機一機ハ在在否
在在ナリ、御用機ニ機ハ返次、至急御配慮ヨリ在在否
ハ保秘

	補給部	技術部	機測部	機定部	機配部	機先部			

A1A

11304000

海軍

1530

機密

普通

件名
番号

書類綴

送

送

起案 17年2月20日

主務者印

起案第

98 號

發付後起
案者捺印

17.2.20

航空本部長

補給部長

首席部員

總務部長

第一課長
第二課長

教育部長

済部部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

付發 昭和 年 月 日

第三十四航空戰隊司令官

宛

(4F) 參謀長 十七日二十九日空四司令官 通報

送最亦凡艦長

要式艦戰三月廿日迄二準備可能機數一〇機外三司令官觀測機

塔載機依批 令仰

電報

機密

要式水偵機三機

航本機密第一六八番電 二月廿二日一八一〇時郵局ニ交付

發付

證書

航本 17.2.23

3040

1531

2 25 9 27

軍極秘

二月二十五日中

26

書類綴

及平送

起案十七年二月十五日 主務者印

起案第 100 號

發付後起案者捺印

綴

航空本部長

補給部長

總務部

教育部長

技術部長

首席部員

第一課長

第二課長

首席部員

第一課長
第二課長
第三課長

付發 昭和 年 月 日

四戰艦隊參謀長
司令官

電報

軍極秘

二月二十五日横須賀發并、春日丸及三月七日名古屋發并、最上川丸三

左ノ兵船ヲ送送ノ予定

一、九四水復二機(梱包)六戰隊用

航空本部 總務部長

吳、横須賀參謀長、三十一、一五各航空隊長
春日丸、最上川丸、長
祥厚、聖川丸

件名

航本機密第一八〇番

海

算廿五

發付 陸五二 一一五〇 郵東通ニ交付

3040

航本 2.26

海軍

昭和九年八月 航空隊編成

二、空戰機二〇機
二四機戰用

三、九九式艦攻二機
祥鳳用

以上春日丸二

四、九五式水偵二機
六戰隊用

五、零式水偵一〇機
二四戰隊用

六、零式水偵二機
聖川丸用

七、觀測機三機
十七十九空用

八、火星發動機四〇基及一式陸攻機三補用品
二四戰隊用

以上最上川丸

關隊四艦隊機密方七四番電
六戰隊機密方三〇番電

終

航空本部

航空本部

一七二一七

〇〇〇
三一〇
四三二
〇二五

東通
了受

(三五一九)

令航

本

航空本部 總務部長

第二航空 廠長

第四艦隊 參謀長

機密第七四四番電 (夕ナ八七七) 一六一一四〇〇

當艦隊輸送飛行艇及聖川丸祥鳳搭載機更新(補充)豫定左ノ通然

ルベク取計ハレ度

(イ)輸送飛行艇

(二)二月中成ルベク速ニ一機(日航徵備機白雲號)二月六日「南」

「一」一九空基地ニ於テ颶風ニ依リ大破修理ニ約三箇月ヲ

要ス



第十信課



補	投	教	給	給	配
心	心	育	給	給	付
心	心	育	給	給	付
心	心	育	給	給	付

DB (四四〇七・五KO) 海軍 1

(一) 三月上旬一機

(二) 三月下旬一機

(三) 祥鳳九七式艦攻一號補用機トシテ二機外ニP S 若ハP T 一〇五
空廠ニ急速更新用二機成ルベク速ナル時機

(四) 聖川丸

(一) 零式水偵 (九四式水偵) 三月上旬三機 四月上旬一機

(二) 零式觀測機 (九五式水偵) 成ルベク速ニ三機 (既送ノモノヲ
含マズ) 三月中旬二機

第拾伍課

海軍

軍機電報

一七二一四

三三三
三三二
〇八四

東通受
通受
發信者

(二九三七) 統

第四通信隊司令

通信者

航空總務部長・百五航空廠長

受報者

航空本部總務部長・廣瀬參謀・百五航空廠下ラツク分工場長・四通信隊隊長

軍機秘暗號

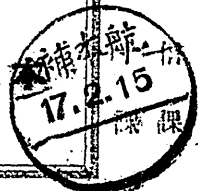
機密第三〇番電(夕ナ四四五)一四一一三〇

發 第六戰隊參謀

(電番號第六戰隊)

營隊九四水偵七機三月中旬更新ヲ要シ同時ニ各機射出機定期検査ヲ要スルニ付且ニ其於テ更新並ニ検査ヲナシ得ル様手配アリ度ニ

海軍 〇八四(一七六三〇) 軍



A1A

1536

2 25 11 25

閉送

軍極秘

通 普

29

件名

航空機密第一八二番

海月廿五日 一軍三

發付 陸軍部

係 密書

第四艦隊機密七四番電開聯
水偵ハ在庫少午關係止艦内整備ニ依リ更新期間ノ延長ヲ計ル度尙
二月末ニ至ケル要更新機ハ使用時數通知得度

付發 昭和 年 月 日

聖川九艦長

宛

四艦隊各隊長

電報 案

軍極秘

航空本部長

濟

航空本部長

教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

總務部長

第一課長
第二課長

補給部長

首席部員

書類級

東新

起案 17年 2月 24日 主務者印

17.2.20

起案第 01

發付後起
案者捺印

17.2.26

3242 航本 17.2.26

紙 或 付

1537

昭和 年 月 日 海軍航空本部總務部第三課

用艇陸羽艦七四白番番
船本振出 一八〇番号 (飛送) 際
浮付

1538

38

3

D

開
3/19

軍
33

密機通普

件名
番號

航本機密第二三八番電

海

軍

發付

淨書

三月十九日十七時東京

付發 昭和 年 月 日

航空本部 總務部長

航空本部長

補給部長

首席部員

總務部長

第一課長

教育部長

首席部員

技術部長

第一課長
第二課長
第三課長

第一航空廠長

宛

第一航空廠長

電報 彙示

軍極秘

一九六〇年 五機ヲ在庫トシ 其他ハ 三一空廠へ還送 (二) 九六式 艦爆

四機ヲ公へ送付セラシ度

四月十日馬公製備部部長ヲ機務課長トシテ

書類綴

昇送

起案ノ年 月 日 主務者印

起案第

ノ

號 發付後起
案者捺印

航本
17.3.20

2881